千代田区労協通信

2026/11/24　№106　千代田区労働組合協議会
千代田区神田三崎町 2-19-8　TEL03-3264-2905　（1）

26秋年末闘争　**11．12千代田総行動を実施**

企業は655兆円の内部留保吐き出せ　年末一時金の増額を
最賃2000円、消費税減税、労働時間規制緩和反対
9条改憲・大軍拡反対、アメリカ、イスラエル、ロシアは無法な戦争止めろ！
26秋年末要求の前進を

区内５駅頭で早朝宣伝

総行動要求・改憲反対・最賃ビラなど3400枚を配布

11月 12 日、千代田区春闘共闘は、26 秋年末闘争として、早朝から、『消費税減税・廃止で物価高対策を、年末一時金の増、最賃 2000 円に、年金の増額、医療・介護の崩壊を止め、教育予算の増、労働時間規制緩和反対、9 条改憲・大軍拡・戦争反対で暮し、雇用、いのち、平和を守り、連帯と労働組合の力で26秋年末要求前進をめざす』を掲げて 11.12 千代田総行動を実施しました。

朝 7 時半から 9 時の間で総行動チラシ（見出し：企業は内部留保を吐き出せ、年末一時金の増額を、最賃 2000 円、消費税減税、労働時間規制緩和反対、9 条改憲・大軍拡反対、アメリカ、イスラエル、ロシアは無法な戦争を止めろ！26秋年末要求の前進を）を神田駅、九段下駅、市ヶ谷駅、霞ヶ関駅、虎ノ門駅の区内５駅頭で20人が参加し、合計3400 枚を配布しました。早朝、天候に恵まれ、駅利用者にテッシュに入れたチラシを受け取ってもらいました。特に、若い女性の受け取りがよいとの反応がありました。



神保町昼休みデモ行進

神保町昼休みデモ

昼休みには、神保町昼休みデモを MIC（日本マスコミ文化情報労組共闘会議）と千代田区春闘共闘で行いました。デモ出発前、MIC・内藤議長は、「物価高の中、労働者の実質賃金は下がっている。26 秋季年末闘争で、一時金の増額をめざそう。27 春闘では大幅賃上げが必要だ。ロシアが、北海道新聞記者をスパイ容疑で拘束した。私たちは、メディアで働く労働者の仲間として、拘束された記者の一刻も早い釈放を求める。記

者はロシア当局から正式なビザを受けてロシア国内で取材活動を行っていたもので、取材・報道の自由は最大限尊重されなければならない。日本政府には、記者の安全確保を最優先に、早期釈放に向けて動いてもらいたい。今回の事態は、戦争の影響がある。このところ日本政府がスパイ防止関連法制の整備を急速に進めていることで、かえって近隣諸国の緊張を不用意に高めている疑いもぬぐえない。」と挨拶。

千代田区春闘共闘・茂呂議長は、「今、秋季年末闘争の最中だ。年末一時金の増額を獲得することが、生活にとって重要だ。高市政権は、消費税減税の法案を提起しているが、私たちの要求しているものとは隔たりがある。食料品だけでなく、全商品、サービスを恒久減税すべきだ。最低賃金は、今、東京では時給2000円が必要だ。軍事費が今やたらと増えている。膨大になっている。この金額があれば私たちの生活はもっとよくできるのではないか。軍事費を増やして、武器を大量に増やしたとしても平和は作れないと思う。平和を作ることで重要なのは、憲法 9 条を守ることだ。今日のデモ行進で要求をアピールしていこう。アメリカでは、中間選挙でトランプを負かした。フランスでも要求を掲げてデモが拡大している。ヨーロッパにも広がっている。日本でも労働組合の力で要求を前進させよう。」と挨拶。



プラカード掲げでデモ行進

神保町昼休みデモは、12時20分に西神田公園を出発。西神田公園➡白山道り➡神保町交差点➡専大交差点➡九段下俎橋児童遊園まで、宣伝カーからの訴え、シュプレヒコールを行い、参加者はプラカードを掲げて、元気よく行進しました。参加者は、全体で60名でした。

お茶の水駅頭　核兵器廃絶、軍拡、改憲、戦争反対

ケア労働者の処遇改善で宣伝行動

14時30分からは、お茶の水駅頭で核兵器なくせ、軍拡、改憲、戦争反対、ケア労働者の処遇改善で宣伝行動を行いました。

6名でチラシを400枚配布し、署名を訴えました。訴えは、下記の通りです。

「81年前、アメリカによって、8月6日、広島に、9日、長崎に原爆が落とされ、一瞬にして、広島と長崎の20万人以上の罪のない人々の命が奪われました。世界で初めて核兵器が使われた瞬間で、罪のない人々を一瞬にして大量に殺したのです。

かろうじて生き延びた被爆者は、後遺症や社会的差別と貧困に苦しみ、その次の世代も健康への不安をかかえて生きてきました。

厚生労働省によると、全国の被爆者健康手帳所持者数は 99,130 人、平均年齢は 86.13 歳(2025 年 3 月末現在)です。被爆者の皆さんは、原爆被害から80年たったいまも、こころとからだ、くらしに困難を抱えながら、核兵器廃絶へ命がけの訴えを続けています。

核兵器が世界にある限り、また使われる危険があります。二度と悲惨な悲劇を繰り返さないためには、核兵器をなくすしかありません。

私たちは、世界に向かって、核兵器をなくそうと声を上げています。

ウクライナ、中東で戦争が続き、核兵器が再び使用されかねない深刻な危機に直面しています。ひとたび核兵器が使用されれば、その被害は国境を越え、人類に破滅的な結末をもたらします。広島・長崎の惨禍を二度と繰り返してはなりません。

唯一の戦争被爆国である日本には、広島・長崎の惨禍が示す核兵器の非人道性を世界に伝え、核兵器のない世界の実現に力を尽くす道義的責務を負っています。2026 年 11 月 30 日から 12 月 4 日まで、ニューヨークの国連本部で核兵器禁止条約第 1 回再検討会議が開催されます。

核兵器をめぐる緊張が高まるいまこそ、立場の違いを超えて対話し、核兵器廃絶への道を探ることが求められています。私たちは日本政府に対し、その第一歩として、核兵器禁止条約第 1 回再検討会議に出席し、核兵器廃絶に向けた国際的な対話と協力に加わることを求めます。

アメリカ・ニューヨーク、フランスなど、核保有国での市民のたたかいと連帯して「『空の椅子平和の波』行動」に参加し、ともに声をあげましょう。

核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名が 370 万人分を超え、全国 1788 自治体のうち 758 自治体が日本政府に同条約への署名・批准を求める決議を採択しています。いまこそ、核兵器禁止条約への日本の参加を実現するため、署名にご協力ください。

ケア労働者の処遇改善求める

医療現場や介護現場では、深刻な人手不足が続いています。

日本医労連が取り組んだ「看護師の入退職に関する実態調査」では、採用よりも退職が多かった医療機関が約 6 割にものぼり、看護師の人手不足の深刻さが顕著に表れる結果となりました。

また、4 月の新規採用枠を満たせなかった医療機関は 4 割もあり、人が足りないまま、医療や看護を行っているという実態があります。その結果、現場では、「患者さんの話をゆっくり聞く時間がない」「入浴や清潔ケアの回数を減らさざる得ない」「小さな体調の変化に気づく余裕がない」など、切実な声が聞かれます。私たちは、専門職として患者さんに寄り添って苦痛や不安を取り除きたいと思っていますが、人手が足りなくて十分な看護ができない状況が続いています。

そして、もう一つ深刻なのが、夜勤の問題です。日本では、世界でも、例のない「16 時間以上の長時間夜勤」をせざるを得ない医療機関が増えています。さらに、勤務と勤務の間隔が短く、十分に眠れないまま次の仕事に入る勤務も多くあります。調査では、勤務間隔が 12 時間未満は約 5 割、8 時間未満も 4 割近くに及んでいます。どんなに経験のある職員でも、極度の疲労の中では判断力や注意力が低下します。これは、看護師だけではなく、患者さんの命にかかわる問題だと思います。

さらに、2025 年度に実施した「妊娠・出産・育児に関する実態調査」結果からは、看護師の 3 割が妊娠中でも深夜業に従事し、流産経験者も増えており、母性が守られない現場の実態が明らかとなっています。深夜業免除や長時間労働など、業務軽減が十分に行われていない環境は、妊娠中の身体に大きな負担を与え、結果として流産や切迫早産などのリスクを高めていることが考えられます。

賃金の問題も深刻です。

2026 年春闘では、大企業は 1 万 7000 円、中小企業でも 1 万 4000 円ぐらいの賃上げが実施されていますが、医療・介護分野全体の引上げ額は平均 6,000 円にも満たない状況です。

毎年のように発生している自然災害時の対応や新たな感染症などに備えるためには、平常時から安定した人員確保が重要で、そのためにはケア労働者の大幅な賃金引き上げが早急に必要です。

低い賃金実態、人手不足とそれによる過酷な勤務実態が働き続けるうえでの弊害になっています。2025 年度「女性労働者の労働実態及びジェンダー平等・健康実態調査」では、仕事を辞めたい思いながら働いている看護師が7割以上にものぼり、辞めたい理由では、多い順に「多忙で身体的・精神的にきつい」「仕事に見合った賃金が支払われていない」と続いていました。

このままでは、看護師や介護職員はどんどん選ばれない職業になってしまい、日本の医療・介護が維持できなくなると懸念しています。コロナのような感染症が再び大流行してしまうと、救えるいのちが救えない「医療崩壊」「介護崩壊」を繰り返すことになってしまいます。医療や介護を必死に支えるために日夜奮闘してきた医療・介護従事者はもちろん、国民の誰しもがあの「医療崩壊」「介護崩壊」を二度と繰り返してはいけないと思ったはずです。看護師・介護職員の役割に見合った賃金の実現と働く環境の改善が、離職に歯止めをかけるとともに、求められる看護・介護の提供、そしてやりがいのある看護・介護につながります。

ご通行中のみなさん！私たちはいま、「夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める国会請願署名」に取り組んでいます。

医師や看護師・介護職員をはじめとしたケア労働者が増え、働く環境が改善することは、みなさんが安心して暮らせる社会（必要な時に病院を受診して入院できる、患者・利用者に寄り添ったケアを行える）このことに直結してきます。現在取り組んでいる国会請願署名へのご協力をよろしくお願いします。

9 条改憲、戦争反対

高市首相は、昨年10月に政権が発足してから一年、国民の暮らしの立て直しに背を向け、大企業優遇と軍事力の強化を進める「戦争する国家づくり」を加速させてきました。軍事費の GDP 比 3・5%への増額などを含む安保 3 文書の改定、軍需産業を「成長戦略」の柱に据え、370 兆円という巨額の資金を投資する大企業支援策は、財政を急激に悪化させ、さらなる円安・物価高、金利の上昇を招き、私たちの暮らしをますます追い詰めます。

みなさん、大地震や豪雨など自然災害が頻発しています。政府がやるべきことは、軍事費や大企業支援のために莫大なお金を使うのではなく、自然災害から命と生活を守るため、被災者の生活や生業の再建のために力を尽くすことではないでしょうか。

国会では、改憲に向けた憲法審査会での議論が進められています。高市政権は、7月まで行われていた特別国会では、国民監視を強める国家情報局の設置、国旗損壊罪法案、副首都法案、皇室典範改正など、憲法違反と言わなければならない法案を強行しています。さらに、いま開かれている臨時国会では、民主主義を破壊し、憲法を守れという声を押しつぶす衆院比例定数の削減が狙われています。

トランプ大統領は、ベネズエラ大統領夫妻の誘拐・逮捕や、イスラエルとともにイランへ先制攻撃を行うなど国際秩序を揺るがせながら、これらの国際法違反を毅然と断罪する国際刑事裁判所・ICC を「ならずもの機関」などと罵倒し、赤根智子所長に制裁を科すなど、その横暴に世界から批判の声が高まっています。しかし高市首相は、トランプ大統領の暴走を黙認するばかりか、アメリカの言いなりになって長距離射程ミサイルの配備など大軍拡を推し進め、沖縄では全島避難の計画まで立てるなど戦争の準備にまい進しています。

みなさん、私たちの願いは、軍事拡大で世界の緊張を高めることではなく、戦争をしないと世界に誓った日本国憲法の理念に基づく政治です。税金は、自然災害から生命と生活を守ることをはじめ、社会保障や教育など、暮らしにこそ使うべきではないでしょうか。この当たり前の願いは、日本が世界に誇る平和憲法を生かし

てこそ、暮らしも平和も守ることができます。いま、多くの市民が「戦争だけは嫌だ」「子どもたちに平和な未来を残したい」という思いから、憲法９条を守る運動に立ち上がっています。

平和な社会を願う皆さん。どうか９条署名にご協力をお願いします。一人ひとりの一筆が戦争への道を止める大きな力になります。私たちは、戦争ではなく平和を。軍事ではなく暮らし・生命を守る政治を求めます。未来の子どもたちに、平和な日本を引き継ぐために。どうか憲法９条を守る署名へのご協力をよろしくお願いいたします。

フードバンク・食料支援・労働・生活相談会

16時からは、フードバンク・食料支援・労働相談会を行いました。今回で４回目になります。



開始前から行列に

開始前から 30 人弱の人が並んでいました。今の物価高騰、生活苦の反映ではないかと思われます。延べ60 人が利用しました。

アンケートに応えてくれた方々のコメントは以下の通りです。

「区内で下宿の学生、食堂でバイトしていてまかないが助かる。授業中は眠い。」

「学生、外食は金がかかるので、しないようにしている。」

「年金生活者、物価高で大変。外出を控えている。物価が上がっているので、低所得者向けに対策してほしい。」

「40 代でバイトしている。食料品が高いので自炊している。減税には期待している。」

「50 代無職、生活保護。生活保護費減らさないで。物価高騰で大変。消費税は下げてほしい。」

「70 代年金生活者、物価高騰非常に影響ある。スーパーの半額が狙いだ。給付金を出してほしい。」

総行動全体で延べ98人が参加、3800枚のチラシを配布

今回の総行動は、全体では、延べ98人が行動参加しました。チラシは、3800枚を配布しました。

（編集：千代田区労協事務局長　小林秀治）

※　皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしています。※　千代田区労協通信バックナンバー／http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm



総行動で配布したケア労働者の処遇改善を求めるビラ